

## 【2022デュエットプランちちぶ】について



本市では、一人ひとりの人権が尊重される真に豊かで活力のある社会を創造するため、男女があらゆる分野で共に参画できる新しい社会の実現に向けて「2006デュエットプランちちぶ」を策定、平成23年度（「2011デュエットプランちちぶ」）改定、平成29年度（「2017デュエットプランちちぶ」）を策定し、計画に沿って様々な施策を推進してまいりました。しかし、性別による社会的偏見や経済的格差は依然として見受けられ、加速する少子高齢化や人口減少社会の到来、デジタル化社会への対応など、私たちを取り巻く環境の変化が増すなかで、男女がともに活躍する社会の形成がより一層求められております。

また、新型コロナウイルス感染症という未曾有の事態に直面し、様々な場面での影響が浮き彫りになり、特に女性の就業や生活に大きな影響を与えました。内閣府が公表している「令和4年度版男女共同参画白書」に記載されているように、ひとり親世帯や単独世帯等の増加等、家族の姿や生き方が多様化しているにも関わらず、男女間の賃金格差や働き方等の慣行、人々の意識、様々な政策や制度等が旧態依然であることが浮き彫りとなっています。

本市では、「子どもから高齢者まで、すべての人が笑顔にあふれ、誰もがチャンスをつかめるまち」の実現を目指しており、まさに、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みがより一層求められる時代となっています。このような時代の変化と共に求められる基本的な方針を国・県の動向を踏まえ、一部計画の見直しを行い、このたび、「2022デュエットプランちちぶ」を策定いたしました。

本計画の推進にあたっては、行政が積極的に取り組んでいくことはもちろんですが、行政と市民、企業、関係団体がともに連携しながら一体となって進めていくことが重要と考えております。市民一人ひとりが男女平等社会の必要性を理解し、職場、学校、地域社会など、あらゆる分野において男女が共に参画できるよう、今後とも皆さまの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和5年2月

秩父市長 北 堀 篤